



東京ヘリポート不法侵入対応及びハイジャック防止訓練

東京ヘリポートでは、年に一回程度、空港施設における保安体制の再確認及び緊急事態発生時の対処方法など所轄警察署等と連携して保安訓練を実施しています。

今回は、10月16日（木）東京湾岸警察署及び東京消防庁城東消防署の協力のもと訓練を実施しました。

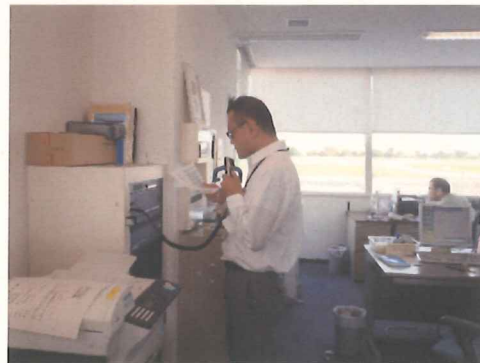
概要及び訓練内容は以下のとおり

- 訓練名 平成26年度東京ヘリポート不法侵入対応及びハイジャック防止訓練
- 日時 平成26年10月16日（木）
 - 第一部 通報訓練 13時30分から13時55分
 - 第二部 実地訓練 15時30分から16時15分
- 場所 東京ヘリポートエプロン内センタースポット
- 主催 東京港管理事務所、警視庁東京湾岸警察署
- 協力 東京消防庁城東消防署、株式会社エグゼクティブプロテクション
- 訓練内容 ①通報訓練
②不法侵入対応及びハイジャック防止訓練

第一部として、東京ヘリポートにおいて受付警備員に対してナイフで脅し、人質に取った不審者がヘリポートエプロンに侵入するという想定で、緊急連絡網に沿って関係機関に通報する訓練を行いました。



所内の通報訓練の様子



ヘリポート場内への一斉放送の様子

第二部では、「東京ヘリポート不法侵入対応及びハイジャック防止訓練」を実施しました。内容は、受付警備員をナイフで脅して人質とした不審者1名が、ヘリポートエプロン内に入り、人質を盾に現金とヘリコプター、パイロットを要求します。

到着した「警察官」と刺又を持った「ヘリポート警備員」が協力して1名を制圧、逮捕というシナリオで訓練を行いました。



① 人質を盾に刃物で威嚇する犯人役



② 警備員と管理事務所職員に囲まれ投降を呼びかけられる犯人役



③ 現場に到着したパトカーと救急車



④ 警察官と警備員に制圧される犯人役

訓練の後、刺叉の使用方法について講義が東京湾岸警察署から行われました。

今回は、東京ヘリポートで警備業務を委託している警備会社社員が訓練に参加し、警察官と連携することで、より効果的な訓練を行うことができました。

なお、犯人役としてご協力いただいた警察官は、迫真の演技と容姿で、プロの方に勝るとも劣らない迫力で見学者も緊張した趣きで観覧していました。

東京ヘリポートでは、今後ともこのような訓練の機会を通して、事業者と緊急事態発生時の対応について共通認識を深めるとともに、警察等との連携強化をより一層深め、ハイジャックやテロの防止に努めていきたいと考えています。



刺叉の使用方法の講義



訓練の見学状況



最後に参加者全員で記念撮影